

行/事/予/定

2~3月

- 2月19日(日) 昔の遊び・もちつき大会【大歳地域交流センター】
- 2月23~27日 「3.11キヨクのキヨク」市民が撮った震災記録写真パネル展【大歳地域交流センター】
- 2月29日(水) 防災委員研修会【大歳地域交流センター】
- 3月10日(土) 鴻南中学校 卒業式【鴻南中学校】
- 3月16日(金) 大歳小学校 卒業式【大歳小学校】

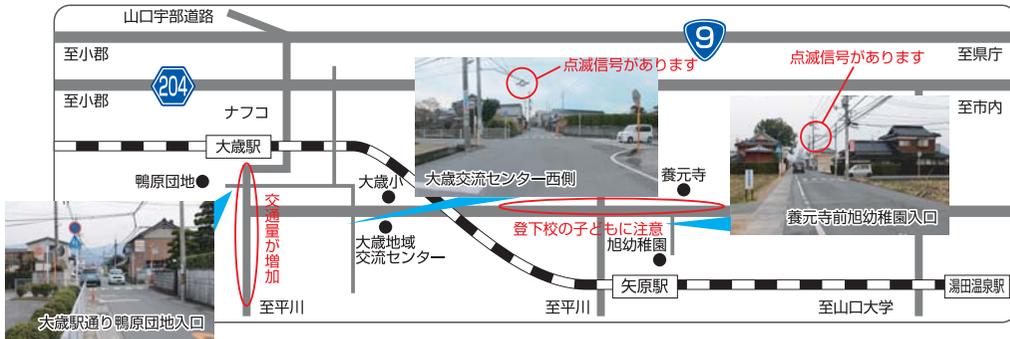
おとしのかわの縁

Information

あぶない！交差点に気をつけて

最近、地域の生活道を通って、ヒヤリとした経験はありませんか。昨年夏に山口宇部道路が朝田まで延長開通してから、車の通行量が増える傾向にあります。住民以外の車も多く走ることから十分な注意が必要です。山口県の交通白書によ

ると、交通事故の4割近くが交差点付近で発生しています。県道204号線から平川へ抜ける道や、見通しの悪い四叉路では、一旦停止や徐行をする必要があります。特に、通勤通学の時間帯、雨や積雪時の運転に気をつけて下さい。「ゆずりあい」の精神で、ゆとりを持って走ることを心がけましょう。



『貧乏神社』建立

各地で不法投棄が問題となっています。特に道路に隣接した川土手には、空き缶、ペットボトル、ビニールなどが散乱し、快適な環境とはいえません。



自動車や自転車からのポイ捨てがほとんどですが、このほど大歳安全安心部会(米屋泰宏部会長)の発意により、榎野川、吉敷川沿いの道路数箇所に『貧乏神社の鳥居』が建てられました。



すでに平川地区でも貧乏神の鳥居が建てられています。各自の自覚によりポイ捨ては無くなります。ブラックユーモアながら、貧乏神に取りつかないためにも《不法投棄》をやめましょう。

編集後記

先日、日本中が猛烈な寒波に見舞われ、思いがけず早朝の通勤時に雪が降った。たった4kmの距離を1時間かけて出勤すると、他の社員も遅れて出勤してきた。天気予報で早くから知っていたにもかかわらずである。4年以内に関東地方で地震が起きる確率は70%だとか。山口は関係ないと言わないで、予め家族で避難場所等話し合っておこう。(内田)

まちづくり おおとし かわら版 2012.2 Vol.13

1自治会1事業

今回は第12号につづき「穂積県営住宅自治会」の活動の状況をご紹介します。地域活性化に役立つ1自治会1事業を、まだ計画されていない自治会は、ぜひ実施に向けてご検討ください。

活動紹介 14

穂積県営住宅自治会

平成24年2月5日

～子ども会と共同の団地内清掃～

隔月ごとに大人も子どもわいわい集まって賑やかに団地内の清掃に汗を流す穂積県営住宅自治会。小学

までは」となりがちな集合住宅の悩みを克服して、自治会役員もスムーズに決まっているようです。



生を中心に幼稚園や保育園に行っている弟妹を含めて親子揃っての賑やかな清掃活動が長続きする秘訣のようです。「おかげでお母さん同士も子どもたちもすっかり仲良しになって」「時間は子どもたちが飽きない程度に」「団地をいくつかの区画にわけて月によって清掃を行う場所を変えながら」「義務感ではなく、子どもがやりたいと思うことを大事にして」など様々な配慮が行き届いた清掃活動の様子を子育て真っ最中の若い自治会長の手山さんが生き生きと語ってくれました。

もともと、「今は女性の役員ばかり」だそうで、5分で決まりそうなことが、あれこれと話が弾みすぎることも。自治会長の手山さんかし、それが「あそこのおばあちゃんこの前気」に散歩してたわよ」とか、一人暮らしのおばあちゃんへの気遣いなど情報交換の役割を果たし、役員としての気配りの元にもなっているといえます。



穂積県住は80世帯。県営住宅は民間住宅に比べ条件面が整備され、住民は高齢者から小さな子どもがいる家庭まで年齢層も多様です。「ずっと住んでいたい」と思っている人も多く、「仮住まいだから近所づきあい



おしゃべり草取り

事業を振り返って

本年度の1自治会1事業は合計16自治会が実施(合同実施を含む)されました。自治会長の個性を生かした取り組みや伝統的な行事など多様な取り組みが行われてきました。

のも事実です。子どもと高齢者がともに動く活動を通じてコミュニティ機能の回復を目指す取り組みは皆が自然に参加できる取り組みだといえましょう。

その中で、いくつかの本年度の特徴が見えます。一つは三世代交流です。高齢化の進行と少子化の進行とは全く別々の問題で、本来ひとまとめにすべきことではありません。

もう一つは災害対策の取り組みが多かったことです。ハザードマップを見るまでもなく、大洪水があれば大歳の大半は水没します。三年前の大洪水はそのことを実感させました。

ただ集落レベルでは、コミュニティ機能の衰退という形でこの問題がのしかかることが多い

「みんなが安全に」を目指す取り組みをもっともっと強めましょう。

大歳自治振興会ホームページも見てね! <http://ootoshi-comm.info/>

検索 大歳自治振興会

愛称募集！ みんなの活動の場にしよう



このあたりに選考された愛称名の看板が掲示されます。



大歳駅で地域づくりなどの活動ができるようになります！

昨年開催されました「おいでませ！山口国体・山口大会」を契機に、国体の玄関口として、またおもてなしの拠点として山口市により改修・整備された大歳駅が、今年4月から地域住民の交流や市民のふれあい活動などに活用できる「地域づくりの場」として、山口市大歳地域交流ステーションという施設に位置づけられます。

この施設（大歳駅）は、山口市から大歳自治振興会が管理を任せられ、運営していく予定となっています。

そこで、地域の皆様に愛着をもって、ご利用いただける施設にしていきたいと思いますので、施設の「愛称」を皆様から募集いたします。また、決定した愛称は施設に掲げる予定です。みごと愛称に選ばれた方には、粗品を差し上げます。ふるってご応募ください。

- ◎応募資格 大歳地区在住者
- ◎応募方法 必要事項を次の連絡方法によりご応募ください。
- ・必要事項 ①施設の愛称、
②その愛称にした理由、
③氏名、④自治会名、⑤電話番号
- ・連絡方法 電話 083-922-4035
FAX 083-922-4036
E-mail o104mati@c-able.ne.jp
- ◎応募先 大歳自治振興会事務局
- ◎応募期限 平成24年2月29日（水）

利用者募集！ 地域づくりなどの活動ができます

大歳駅で地域づくりや、ふれあい活動などを活動を行う「定期利用団体」を募集します！

今年4月から地域住民の交流や市民のふれあい活動などに活用できる「地域づくりの場となる施設（大歳駅）」を定期的に利用してみたいと思われる団体・グループを募集します。

定期的な利用にあたっては、利用条件などがありますので、まずは大歳自治振興会事務局までご相談ください。



- ◎応募・相談先 大歳自治振興会事務局
(大歳地域交流センター内)
- 電話 083-922-4035
- ◎応募期限 平成24年3月15日（木）

“ワンワン帽子”で、犬と散歩を！ 散歩と地域貢献で一石二鳥だワン！



毎日の犬との散歩。1に健康、2に心のリフレッシュ、3に犬との愛情の交流がはかれて愛犬家にとって三拍子揃った至福の時間。

そこで、ついでに“ワンワン帽子”をかぶってみませんか。ワンワン帽子は大歳防犯パトロール隊員のトレードマーク。かぶるだけで、防犯の役割がはたせるというすぐれものです。

「ぼくと散歩しながら地域防犯のボランティアをつとめるなんて“ワン”ダブルなご主人」と犬もきっと喜ぶでしょう。もちろん、ペットはいないが散歩は良くするので、防犯パトロール隊員になって下さる方も大歓迎。

「ワンワン帽子をかぶってやろう」とお考えの方は、大歳自治振興会までご連絡ください。帽子を進呈いたします。

- ◎申込先 大歳自治振興会事務局
- ◎必要事項 ①氏名、②住所、③電話番号、
④自治会名をお知らせください。
- ◎申込方法 電話 083-922-4035
FAX 083-922-4036
E-mail o104mati@c-able.ne.jp

地域の安全のために整備が進んでいます！

皆さんが日常生活で使っている団地内道路や里道、水路などの山口市名義の法定外公共物と呼ばれるものは、各自治会などが中心となって、現在、維持管理を行っています。

日頃から自治会長さんや役員さん、水利組合の

方々が地域の皆さんの生活の安全を維持するため、環境整備に気を配っておられます。

そこで、今年度実施された工事の事例をご紹介します。

中矢原の道路補修
【補修前】



【補修後】

